

- 問1 千葉県農業において、大消費地である東京圏に隣接している利点を活かし、野菜などの産出額を押し上げている農業の形態を何と呼びますか。
（2016年 山形県公立入試 類似）
1. 大規模農業

2. 抑制栽培

3. 近郊農業

4. 促成栽培
- 問2 千葉県の産業や人口の特色について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものを次から選びなさい。
（2020年 千葉県公立入試 類似）
1. 人口が多く、第3次産業の割合が高いとともに、農業産出額と製造品出荷額がともに全国平均を上回っている。

2. 観光業が産業の中心であるため第3次産業の割合は非常に高いが、製造品出荷額や農業産出額は全国平均に及ばない。

3. 日本海側の気候を活かした稲作が盛んで農業産出額は高いが、人口および第3次産業の割合は全国平均を下回っている。

4. 古くからの文化財が多く観光客は多いが、大規模な工業地域を持たないため、製造品出荷額は全国平均を下回る。
- 問3 関東地方のある県の農業産出額の統計において、米の産出額が約400億円であるのに対し、野菜の産出額は約840億円、花きの産出額は約140億円と、野菜や花きの割合が非常に高くなっています。ネギやほうれん草などの生産が盛んな、この統計が示す県はどこですか。
（2018年 福島県公立入試 類似）
1. 茨城県

2. 栃木県

3. 群馬県

4. 千葉県
- 問4 1990年から2020年にかけての茨城県つくば市の人口推移について、2005年の鉄道開業が与えた影響と人口の変化を説明したものととして最も適切なものはどれですか。
（2024年 神奈川県公立入試 類似）
1. 鉄道の開業によって東京都心への利便性が向上したことで、人口の増加が継続した

2. 鉄道網の整備により周辺都市へ人口が流出したため、夜間人口が1990年代よりも大幅に減少した

3. 鉄道の開業をきっかけに、利便性は高まったものの居住人口が減少に転じる傾向がみられた

4. 鉄道が開業したが、全国的な少子高齢化の影響を強く受け、2000年代以降は人口が横ばいとなった
- 問5 北関東工業地域が、内陸部を中心とした立地でありながら、機械工業を中心に発展を続けている背景を説明したものととして、最も適切なものはどれか。
（2021年 静岡県公立入試 類似）
1. 利根川などの豊富な水資源を背景に、電力消費が激しい鉄鋼業や石油化学コンビナートが集中したため

2. 地価が安く広大な土地が確保でき、高速道路網の整備によって自動車や部品の効率的な輸送が可能になったため

3. 古くから続く製糸業の伝統を活かし、絹織物の技術を先端的な半導体製造へと直接応用させたため

4. 大規模な港湾施設が整備されたことで、海外から輸入した鉄鉱石や石炭を直接工場へ運び込めるようになったため
- 問6 東京都中央卸売市場におけるキャベツの月別出荷量を確認すると、愛知県や千葉県は1月から5月にかけての出荷が多い一方、群馬県は7月から10月にかけて突出して出荷量が多くなっています。群馬県がこの時期に大量の出荷を可能にしている背景として、最も適切なものはどれですか。
（2019年 新潟県公立入試 類似）
1. 広大な平坦地を活かして大型機械を導入し、他の地域よりも短期間で大量に収穫しているため

2. 消費地である東京に近いため、輸送コストを抑えて年間を通じて安定した供給を行っているため

3. 冬の寒さが厳しいため、大規模なビニールハウスや温室などの施設を利用して成長を早めているため

4. 標高の高い地域特有の夏の涼しい気候を利用して、平地での生産が難しい時期に栽培しているため
- 問7 18世紀初頭の日本の農業生産において、全体としては田の面積が畑の面積を上回る中で、例外的に畑の面積の方が広がった地域はどこですか。
（2026年 大阪府公立入試 類似）
1. 東北地方

2. 関東地方

3. 近畿地方

4. 九州地方
- 問8 関東地方の各都県を比較した統計において、ある地域は「昼夜間人口比率」が118.1と突出して高く、周辺の県では80から90台という100を下回る数値を示しています。この数値が118.1である地域において、昼間の人口が夜間の居住人口を大きく上回っている主な理由として適切なものはどれですか。
（2018年 兵庫県公立入試 類似）
1. 都心部の人口密度が低くなり、夜間に居住する若者世代が急増したため

2. 周辺の県から東京都などの都心部へ、仕事や通学のために移動してくる人が多いため

3. 観光客の数が年間を通じて安定しており、夜間の宿泊者数が昼間の訪問者数を上回るため

4. 大規模な工場が郊外に移転し、夜間に働く労働者が都心部に居住しなくなったため
- 問9 さいたま市の人口統計において、常住する「夜間人口」が「昼間人口」を上回り、昼夜間人口比率が約93.0%と100%を下回る主な理由は、どのような背景によるものか。適切な説明を選びなさい。
（2020年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 大規模な工業地帯が形成されており、夜間に働く交代制の労働者が他地域から多く流入するため

2. 高齢化の影響により、市外へ働きに出る現役世代が減り、日中も市内に留まる住民の割合が急増したため

3. 周辺の東京都などへ通勤・通学する人が多く、昼間に市外へ流出する人口が流入する人口より多いため

4. 商業施設が市街地の中央に集中しているため、近隣の県から買い物客が多く流入し、夜間人口が相対的に少なくなるため
- 問10 関東地方の各県における工業統計を示した資料において、栃木県の状況を説明した記述として最も適切なものはどれか。
（2022年 兵庫県公立入試 類似）
1. 北関東工業地域に位置し、2019年時点の統計でも電気機械器具の出荷額が輸送用機械器具と同等の高い数値を示している。

2. 北関東の内陸部に位置しているが、原材料の輸入に依存するため、鉄鋼業が電気機械器具を上回る主要産業となっている。

3. 京葉工業地域に含まれ、出荷額の大部分を鉄鋼業と石油化学工業が占める典型的な臨海型工業の構造を持つ。

4. 京浜工業地帯の中核として、金属工業や印刷・製本業の出荷額が全国で最も高い水準にある。
- 問11 群馬県北部の地点から南東の埼玉県側の地点を結ぶ地形の断面的な特徴について、その標高の変化を説明したものととして最も適切なものはどれですか。
（2024年 岡山県公立入試 類似）
1. 北部の山地と南東の平野部の間に巨大な盆地が存在するため、中央部で一度標高が大きく下がった後に再び上昇する地形

2. 群馬県北部から埼玉県にかけて標高の差がほとんどなく、全域にわたって標高100メートル以下の平坦な土地が広がる地形

3. 南東側の平野部から北部の山地に向けて標高が緩やかに上昇し、標高500メートル程度のなだらかな丘陵地が続く地形

4. 標高2000メートルを超える北部の険しい山地から、南東へ進むにつれて標高が急降下し、広大で平坦な関東平野が続く地形
- 問12 関東平野の台地部分を広く覆っている、富士山や箱根山などの火山活動によって噴出した物質が長い年月をかけて堆積してきた赤土の層を何といいますか。
（2025年 栃木県公立入試 類似）
1. 泥炭地

2. マサ土

3. 関東ローム層

4. シラス台地